



馬車道通信



**参加費
無料**

きずな ★ 夏祭り

— 町内会の活動を体験しよう! —

**夏休みの
思い出を
作ろう!**

8月17日(木)・18日(金)

●ゴミ分別釣りゲーム

ゴミの分別について
釣りをしながら楽しく学ぼう。

10:00~16:00 (両日とも)

●町内会クイズ/パネル展示

町内会についての
クイズに答えよう。

●「まち」をつくろう

不思議な積み木「カプラ」で
自分の「まち」をつくってみよう!

●夏祭りをつくろう

ヨーヨー、かき氷
ゲームの屋台を体験!

●缶バッジをつくろう

自分だけのオリジナル缶バッジを
つくってみよう! テーマは『きずな』!

横浜市教育委員会主催のイベント「子どもアドベンチャー2017」が開催されます。横浜市在住の小中学生に、職業体験・社会体験を通じて人との交流を体験してもらおうイベントです。育成センターは「町内会」をテーマに市民局とともに参加します。子どもたちが、地域が協力し合い作り上げる「まちづくり」を体験しながら、人と人の絆や自分が暮らす地域に関心を持つことが目的です。

対象：横浜市在住の小中学生・中学生とその保護者、家族、団体指導者

会場：横浜市青少年育成センター 第1研修室・第2研修室・和室・ミーティングルーム・スタジオ
 お問い合わせ/連絡先

横浜市青少年育成センター（公益財団法人よこはまユース）

TEL：045-664-6251 Email: ikusei@yokohama-youth.jp http://yokohama-youth.jp/ikusei/

- 屋台・景品等は、在庫が無くなり次第、終了いたします。
- それぞれの体験活動は原則1人1回までとさせていただきます。
- 当日はできるだけ多くのお子さまが体験活動に参加できるように、材料の在庫等を調整いたします。団体での参加の場合、おおよその来館時間と人数を、事前に上記の『連絡先』までお知らせくださいますと、比較的スムーズにご案内できます。

ユース・ゼミ

ステップアップ編

発達障がいの子どもの理解と支援

~子どもとの接し方と親への声かけ~

支援者の方を対象に、事例を通して、子どもとの接し方と親への声かけについて学ぶゼミです

講師 中本 テリー さん

■日時：平成29年8月4日(金) 9:30~12:30

■対象：子ども・青少年に関わる団体・施設職員、放課後キッズクラブ・はまっ子ふれあいスクール・学童保育職員、教職員、発達障がいに関心のある方等。

■定員：30名(先着順) ■費用：1,000円

■会場：横浜市青少年育成センター 第1研修室

■申込み：①講座名②氏名(ふりがな)③連絡先(TEL、E-mail)④所属等(あれば)を明記の上、TEL・FAX・E-mailでお申込み下さい。



利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～



『グループLM』

(第2研修室・ミーティングルーム利用)

広報よこはまの英会話講座で知り合った仲間で作った会です。かれこれ22年間続いています。会話だけでなく、時事問題や世界情勢についても語り合い、視野を広げることも目的としています。もちろんジョークも飛び出します(笑)

現在メンバーを募集しています。

【イベント】

特にイベントの予定はありませんが、メンバーで時々旅行に行っています。

(馬車道大好きなNさん 談)

青少年のみなさんへステキなメッセージをいただきました!

私たちは小さな会ですが常にネイティブの先生(現在はカナダ人の先生)に教わっています。このことは単に言語だけでなく、他国の国民性や表現方法を学ぶことに役立っています。是非広い世界を見てください。

馬車道 コラム Vol.53 Aさんの単身赴任

サラリーマンに転勤はつきものだが、バンドの主要メンバーが転勤するとなると、バンドに大きな激震が走る。

長年、いくつかのビッグバンドのメンバーとしておつきあいしてきたギターリストのAさんが7月から大阪に転勤することになった。

彼とは以前お世話になったある社会人ビッグバンドで約20年間、様々なステージやレコーディングをともにしてきた。カウント・ベイシー楽団が好きで、その看板プレイヤーであるフレディ・グリーンが彼の憧れである。マイクのないギター1本で、17人編成のビッグバンドをドライブさせることが彼の大好きなスタイルであった。勿論、ギターソロも上手い。しかし、彼の素晴らしさは、所属するバンドに数多くのオリジナル・アレンジを提供してきたことにある。最近では、ホレス・シルバーの「ニカス・ドリーム」やロックグループ「キッス」の「デトロイト・ロック・シティ」など彼がアレンジした曲を演奏したことが記憶に残っている。

オリジナル・アレンジがあるということは、そのビッグバンドにオリジナルな「音」があることを意味する。あるビッグバンドリーダーが重篤な病気にかかって入院した時、彼が持っている膨大なバンド

スコアを譲ってもらうため、多くのビッグバンドリーダーたちが彼の病床に駆け付けたという。それほどビッグバンドのスコア、それもオリジナルスコアはバンドの財産であり、そのバンドの根幹をなすものである。

<ジャズおやじ>が33年間お世話になったビッグバンドを仕事の異動で退団し、どこからも声がかからなかった苦しい時代に、彼からさまざまな演奏機会を提供してもらった。現在、二つのビッグバンドにお世話になっているが、すべて彼からの紹介である。

Aさんは現在、様々なビッグバンドを掛け持ちしている。あるコンサートの打ち上げで、彼は数人の女性メンバーに囲まれ「Aさん、奥さんがかわいそう。バンドやり過ぎ。少しは奥さんのことを考えてあげて!」とかなり厳しく糾弾されたそうだ。単身赴任する彼にとって、今回の転勤はますますジャズにのめり込むチャンスになるのだろうか?それとも遠く離れた家庭やよき伴侶の存在を改めて認識する機会となるのだろうか?

異郷の地にあっても元気に活躍してほしいものである。<ジャズおやじ>

【お申込み/お問合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター TEL:045-664-6251 FAX:045-664-6254 E-mail:ikusei@yokohama-youth.jp

